

## 【第二部 ミニラウンドテーブル】の詳細が決まりました

### 「あなたの葛藤や工夫が、次の現場をつくるヒントになる。」

看護と介護の日本語教育実践者によるミニラウンドテーブル形式の報告セッションです。実践者による現場での葛藤や工夫を共有し、対話の場を設けます。多様な実践にふれて、これからの現場づくりのヒントを見つけてみませんか。

#### ■第二部 15:00－16:00

参加費は第一部、第二部込みになっております。

#### ■3つのうちからお好きなテーブルを選んでご参加ください。



#### 【話題提供①】上田 潤子 氏

早稲田大学日本語教育研究センター

「自立（自律）した学習者になるためにどんな支援が必要か ―技能実習生から介護福祉士へ―」

話題提供者は技能実習生として精肉工場で働いていたカンボジア人 A さんが、特定技能「介護」の資格を取得するまでの学習支援と手続きをサポートし、現在は国家資格取得を目指し、継続的な学習支援を実施しています。労働者であり学習者でもある A さんへのインタビューを通して、自立（自律）した学習者を育てる支援のあり方を考えます。

#### 【話題提供③】滝本 裕弥 氏

大田区福祉部福祉管理課

大田区における  
「介護の日本語講座」の取組について

大田区では令和元年度より、外国人介護従事者や介護に関心のある区内在住外国人を対象に「介護の日本語講座」を実施しています。国籍や年齢、滞在年数の異なる参加者が現場の日本語や日本文化を共に学んでいます。今回はこれまでの取組成果をご報告するとともに今後の事業をより有効なものへ発展させるため、参加者の皆様と意見交換を行います。

#### 【話題提供②】宇津木 晶 氏

すみだ日本語教育支援の会 日本語教師

「日本語教師が『介護の学習』をどう支援するか」

「わからない」「むずかしい」「おぼえられない」の背後には何が隠れているのでしょうか。一口に「専門知識が難しい」といっても、その原因は漢字、介護技術、医療知識、法律用語、社会システムなどさまざまです。外国人介護職従事者への日本語支援の経験をもとに、「何が難しいのか」「どうすれば改善できるのか」を参加者の皆さんと一緒に考えます。

#### ■こんな方におすすめ

- ・介護分野の日本語教育に携わっている方
- ・外国人介護職の学習支援を行っている方
- ・介護福祉士国家試験対策に関心のある方

現場の実践から学び、ともに考える対話の場へぜひご参加ください。

#### 申し込み期限

2026年8月22（土）

第一部・第二部共通の  
申し込みになります

